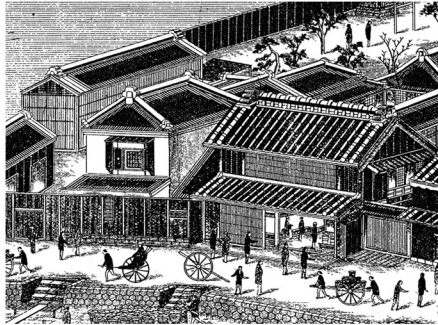


# 百年前をのぞいてみると?

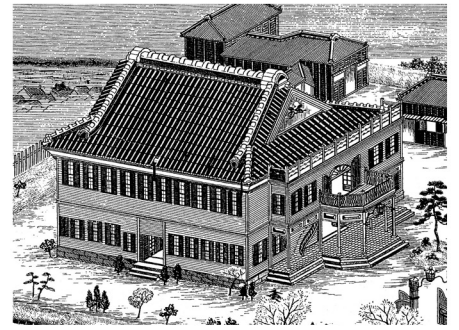
## \*『博覧図』とは何だろう\*

『博覧図』とは、明治20年代、東京・精行社が刊行した“銅版画”集のことで、文明開化にふさわしい事業をおこなって業績をあげた人々の事跡や邸宅を銅版画集としてまとめるのが目的でした。描かれているのは、農家や商家、官公庁、学校、寺社、工場などの建物で、東京周辺の事例が多く、千葉県については『日本博覧図 千葉県之部初篇』(明治27年刊)及び『日本博覧図 千葉県之部後篇』(明治29年刊)の二編が刊行されています。いずれも細密で、実際の建物ばかりでなく当時の風俗までを忠実に描写していることから、歴史資料としてとてもすぐれています。



正上醤油 (香取市)

上段が博覧図(部分)、下段は現在の姿。店舗は江戸後期、袖蔵は明治初期の建築が残されている。県指定有形文化財。



千葉県会議事場

上段が博覧図(部分)、下段はそれをもとに外観を再現した建物(県立房総のむら管理棟)。

## \*『博覧図』にみる明治期千葉県の産業\*

博覧図は当時の経済の状況をよく示す史料です。というのは、博覧図をつくるために県内の有志が資金を提供したので、スポンサーの邸宅や工場を描いたものが多くなっているからです。また、版画は細密に描かれているため、そこでおこなわれていた技術・工程の仔細を知る史料でもあります。

千葉県の博覧図に描かれた産業で目立って多いのは、醤油・酒・みりんなどの醸造業です。次いでイワシ漁とイワシを使った水産加工、とくに干鰯(ほしか)、メ粕(しめかす)とよばれる肥料生産が多くなっています。今回の展示では、博覧図をたっぷりご覧いただくとともに、明治期の千葉県を支えた二大産業である“醸造業”及び“漁業・水産加工業”のようすもご覧いただきます。

### 体験 銅版画をつくってみよう!

10月9日(祝) 10:00~16:00  
事前申し込み・研修室にて  
詳しくはお問い合わせください

### 併催! トピックス展

### “昔のくらしと道具”

10月7日(土)~11月5日(日)  
第2企画展示室  
昔こんなのあったよね 懐かしい!

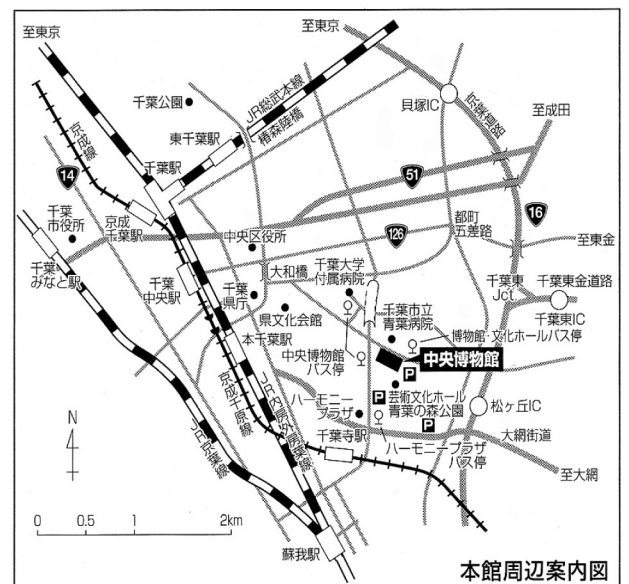
### 講座 百年前をのぞいてみると?

10月22日(日) 13:30~15:30  
先着順・講堂にて  
展示の見どころや歴史について解説します

【開館時間】 午前9時から午後4時30分まで(入場は午後4時まで)  
【入場料】 一般300円(240円) 高校・大学生150円(120円)(カコ内は20名以上の団体料金)  
※次の方は入場無料になります  
中学生・小学生・幼児/65歳以上の方(年齢を示すものを提示)/身体障害者手帳・精神障害者福祉手帳・療育手帳をお持ちの方(手帳提示)及び介助者  
【休館日】 毎週月曜日 ただし10/9(月祝)は開館 翌10/10(火)は休館  
【お問い合わせ】 住所 〒260-8682 千葉市中央区青葉町955-2(青葉の森公園内)  
電話 043-265-3111(代表) ファクス 043-266-2481  
ホームページ <http://www.chiba-muse.or.jp/NATURAL/>

### \* 交通案内 \*

【電車・バスをご利用の場合】  
・千葉駅(JR総武線・京成線)東口7番乗り場から京成バス「大学病院」 「大学病院・南矢作」行きで約15分 「中央博物館」下車 徒歩7分  
・千葉駅(JR総武線・京成線)東口2番乗り場から千葉中央バス「中央博物館」行きで約20分 終点「博物館・文化ホール」下車 徒歩1分  
・蘇我駅(JR京葉線・内房線・外房線)東口2番乗り場から小港鐵道バス・千葉中央バス「大学病院」行きで約15分 「中央博物館」下車 徒歩7分  
・千葉寺駅(京成千原線)下車徒歩約20分(蘇我駅からのバスは千葉寺駅を経由します)  
【自家用車をご利用の場合】  
・千葉道路「松ヶ丘」インターチェンジから約5分



本館周辺案内図